

地元小学生「学びの場」

2月18日（金）、22日（火）に湯浅小学校3年生の児童が、社会科の学習で伝建地区を訪れました。

グループになり、皆と協力しながら、格子のある建物や井戸などを探し、湯浅の古い建物の特徴や、昔の道具について、クイズのように楽しく学びながら散策することができました。



～ 湯浅の歴史 ～ 第一回

今回の瓦版より、「湯浅の歴史」について古代から現代まで、半邊編集部会長が執筆する予定です。
連載予定ですので、次号もお楽しみ！



第一回 天神山古墳

古墳時代は、日本各地で地方を治める強い豪族が大きな墓を作り権力を誇示する時代でした。そのころ湯浅にこの地を治めた豪族がいて、高さ30m、四方100mの円墳の墓が天神山にありました。江戸時代にはこの周囲を堀で囲い祀られており、明治35年に社の修理をする際、土を掘ろうとして古墳が発見されました。その後高度成長時代の中、宅地造成の際にも埴輪が出土しました。石棺を中心として家形や太刀型、人型の埴輪が三重に埋められ、須恵器、玉などが多数出土し、その一部は博物館に保管されておりますがその他は不明です。この古墳は中部和歌山では最大級の古墳であり、湯浅は古くから和歌山の中で重要な場所であったことがこの古墳からもわかります。

湯浅伝建地区保存協議会

皆様に瓦版をより身近に感じてもらうために、まちなみ瓦版の記事を募集しています！ご意見・ご要望などございましたら、右記のまちなみ瓦版編集委員まで連絡をお願いします。

■ホームページ <http://www.eonet.ne.jp/~denken-yuasa>

編集委員

半邊 宗五
妻木 良三
楠山 吉雄
油谷 太一
竹田 滋子



まちなみ瓦版

■令和 4年 3月 1日
■第 61 号
■発行：湯浅伝建地区保存協議会
■発行責任者：木下 智之

第9回 湯浅まちなみひなめぐり

開催中

～3月12日(土)まで



現在開催中の「湯浅まちなみひなめぐり」は、新型コロナウイルス感染症対策として、イベント等は行わず、消毒液を設置した施設の甚風呂・北町ふれあいギャラリー・岡正・立石茶屋 他16カ所で展示し、訪れる人を楽しませています。

豊かな表情の七段飾りが一堂に並ぶと見ごたえがあり、とても華やかです。津浦家（旧内伝麴店）では、格子越しに見るひな飾りは、独特の風情を感じられます。



また、「吊るし飾り12000体プロジェクト」は、目標の12000体を超える吊るし飾りを展示しています。吊るし飾りの展示会場には、入口に「厄除け猿」を吊るしてありますので、目印にしてください。



保存協議会 役員会を開催しました

日時：令和3年12月20日（月）午前10時より

場所：北の町老人憩の家1F

出席者：会長、副会長3名、事務局2名



【協議内容】

●第9回湯浅まちなみひなめぐりについて

開催は、2/11～3/12の日程で行うことを全会一致で承認しました。

●旧栖原家住宅工事進捗状況等について

役場からの報告では、11月末まで予定をしていた主屋内装等の工事は、資材納入が遅れているため、来年1月末まで延長するということです。また、トイレの建物や敷地内等の整備が2月から着手し、夏頃に終わるよう進め、秋頃オープン予定になるとのことです。

●まちなみの駅（北橋南側）について

現在、和歌山県が整備する駐車場と公衆用便所の設置工事が始まっています。敷地内に町が火災で失われた伝統的建造物の外観を復元する方針であると説明を受けました。そして、その建物の活用を観光客だけに向けるのではなく、地域の活性につながればいいという意見がありました。



●道路環境と信号機の設置について

北橋の南側に信号機を設置できないかという議論が出ました。現状では、設置が難しいようではありますが、栖原方面からの交通量が増え、事故が起こってからでは遅いので、各地区の集まりや会議で話し合い、署名をとるなどできそうということです。

●吊るし飾り12000体プロジェクトについて

このプロジェクトは、当初の目標を達成したため2022年3月31日を以て解散するという事です。吊るし飾りは、今後も継続していく方向で、保存協議会で開催している他のイベントと併せて「NPO 湯浅まちなみの会（案）」に引き継ぐことに決まりました。

旧栖原家住宅の土間を

三和土仕上げしました

1月14日（金）旧栖原家住宅の土間の三和土仕上げを、和歌山県建築士会や伝建保存審議会委員 神吉先生の京都大学大学院のメンバー、見学に来られた町民の方たちも加わり行いました。

三和土作業は、土を叩き締めて土間を作る伝統的な手法です。施工が簡単なセメントが使われるようになってからは、三和土土間を見る機会が減ったということで、体験した方たちは



土が堅く固まり、その表面の艶が出てくるのが楽しいと貴重な経験ができたようでした。

その後、職人の技術で三和土土間が完成しました。

役場からのお知らせ

町民歴史講座のご案内

第1回

日時：3月21日（月・祝）14：30 開演

場所：湯浅えき蔵3階 地域交流センター

演題：「菊池海荘と菊池（垣内）家史料」

講師：東京大学史料編纂所 保谷 徹 教授

参加無料・事前申込必要
（先着各100名）

参加希望する方は、電話もしくは直接来庁にてお申込みください。

第2回

日時：3月29日（火）19：00 開演

場所：湯浅えき蔵3階 地域交流センター

演題：「ホンモノを誇りに～湯浅町の歴史・文化遺産の多層性～」

講師：奈良文化財研究所 浜田 拓志 客員研究員

湯浅町文化財保護審議会 生田 俊示 委員長

教育委員会 歴史文化財係
（2F 17番窓口）
☎ 64-1128

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、内容変更または中止となる場合があります。